

令和7年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) (国補) ・ 県単

事業名	農地整備事業 [畑地帯総合整備事業(国補)]		事業箇所	山梨市落合外	地区名	山梨西部	事業主体	山梨県																																			
計画期間	当初計画	現計画	変更計画		④特記事項(関連事業概要等) ・なし																																						
	R2~R7	R2~R8	R2~R10																																								
総事業費	900 百万円	1,143 百万円	1,378 百万円																																								
(1) 事業の概要					⑤これまでの評価状況 ・なし																																						
①事業目的及び効果 本地区は山梨市南部の笛吹川右岸に位置し、ぶどう、ももを基幹作物とした県内有数の果樹産地である。 しかしながら、地域内の農地は狭小で不整形な農地が多く、かつ、急峻な地形であることから機械作業の導入が進まず、維持管理に多大な労力を要しており、耕作放棄地も目立つ状況となっていた。 このことから、営農条件を改善させるため区画整理等の基盤整備を実施することで、担い手農業者への農地集積を行い、持続的な果樹生産の維持、発展の向上を目的として事業を実施している。																																											
<input type="checkbox"/> 主要目標 ○農業生産力の向上 (農業所得増加額: 8,710千円/ha ≥ 810千円/ha※) (※評価基準値) <input type="checkbox"/> 副次目標 ○農業用排水能力の向上 <input type="checkbox"/> 副次効果 ○果樹園景観の保全 <input type="checkbox"/> 遊休農地の解消					(2) 事業位置図等 																																						
②事業概要																																											
<table border="0"> <tr> <td></td> <td>現計画</td> <td>変更計画</td> </tr> <tr> <td>区画整理</td> <td>A= 13.5ha</td> <td>→ A= 12.5ha</td> </tr> <tr> <td>用排水路</td> <td>L= 182m</td> <td>→ L= 150m</td> </tr> <tr> <td>畑かん施設</td> <td>A= 8.8ha</td> <td>→ A= 8.8ha</td> </tr> </table>						現計画	変更計画	区画整理	A= 13.5ha	→ A= 12.5ha	用排水路	L= 182m	→ L= 150m	畑かん施設	A= 8.8ha	→ A= 8.8ha	③全体計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>令和6年度まで</th> <th>令和7年度 (評価実施年度)</th> <th>令和8年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">現計画</td> <td>工事内容</td> <td>区画整理 A=6.5ha</td> <td>区画整理 A=0.5ha</td> <td>区画整理 A=6.5ha 用排水路 L=182m 畑かん A=8.8ha</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>825 百万円</td> <td>55 百万円</td> <td>263 百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">変更計画</td> <td>工事内容</td> <td>区画整理 A=6.5ha</td> <td>区画整理 A=0.5ha</td> <td>区画整理 A=5.5ha 用排水路 L=150m 畑かん A=8.8ha</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>825 百万円</td> <td>55 百万円</td> <td>498 百万円</td> </tr> </tbody> </table>						令和6年度まで	令和7年度 (評価実施年度)	令和8年度以降	現計画	工事内容	区画整理 A=6.5ha	区画整理 A=0.5ha	区画整理 A=6.5ha 用排水路 L=182m 畑かん A=8.8ha	事業費	825 百万円	55 百万円	263 百万円	変更計画	工事内容	区画整理 A=6.5ha	区画整理 A=0.5ha	区画整理 A=5.5ha 用排水路 L=150m 畑かん A=8.8ha	事業費	825 百万円	55 百万円	498 百万円
	現計画	変更計画																																									
区画整理	A= 13.5ha	→ A= 12.5ha																																									
用排水路	L= 182m	→ L= 150m																																									
畑かん施設	A= 8.8ha	→ A= 8.8ha																																									
		令和6年度まで	令和7年度 (評価実施年度)	令和8年度以降																																							
現計画	工事内容	区画整理 A=6.5ha	区画整理 A=0.5ha	区画整理 A=6.5ha 用排水路 L=182m 畑かん A=8.8ha																																							
	事業費	825 百万円	55 百万円	263 百万円																																							
変更計画	工事内容	区画整理 A=6.5ha	区画整理 A=0.5ha	区画整理 A=5.5ha 用排水路 L=150m 畑かん A=8.8ha																																							
	事業費	825 百万円	55 百万円	498 百万円																																							
※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。					地理院地図(国土地理院)を加工して作成 0 m 500 m 1,000 m																																						

2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

事業着手を契機に、消費者から評価の高いシャインマスカットなどへの転換を計画している農業者が増加した。中には規模拡大を希望する担い手農業者も存在しており、早期の整備が求められている。

②産業・経済情勢

労務費・建設資材費の上昇

③国等の方針

なし

④上位計画・関連事業計画等

やまなし農業基本計画(令和6年1月策定)

⑤自然環境条件等

なし

⑥その他

なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項目		着手時点	変更計画時点	
総事業費		900 百万円	1,378 百万円	
工期		R2~R7	R2~R10	
経済効率性	評価基準年	R1	R7	
	費用	892 百万円	1,301 百万円	
		建設費	892 百万円	1,301 百万円
	便益	1,145 百万円	1,403 百万円	
		作物生産効果	294 百万円	606 百万円
		品質向上効果	208 百万円	108 百万円
		営農経費節減効果	608 百万円	616 百万円
		その他※	35 百万円	73 百万円
B/C	1.3	1.1		

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、維持管理費節減効果、国産農産物安定供給効果

（3）これまでの計画変更等の概要

- 物価高騰や労務単価の上昇を要因とする事業費の増。
- 区画整理において、換地計画の合意形成に日数を要したため、計画期間を令和8年度まで延期した。

（事業費）243百万円の増

（計画期間）1年延長

評価シート(2)

(4) 事業進捗状況及び見込み

①進捗率

別表のとおり。

R7年度進捗率(現計画)100%→(実績)77.0%→(変更計画)63.8%

②進捗率実績が計画と相違している理由

区画整理において、換地計画の検討や地権者との調整に日数を要したことによる。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
区画整理	293百万円の増	営農形態や農作業効率を維持管理時の安全面を踏まえ、法尻構造物の形状を変更したことによる事業費の増
	53百万円の減	高収益な品種への転換により、既に安定的な生産が開始されている計画箇所について、本事業から減とすることによる事業量の減
用排水路	5百万円の減	現地精査において、一部区間の既設利用が可能であると判断されたことによる事業費の減
合計	235百万円の増	

④事業期間の変更理由及び進捗予定

区画整理において、換地計画に関わる地権者との調整に期間を要したが、合意が得られたことから計画的かつ効率的な実施に努め、工期を2年延長し、令和10年度の完了を予定している。

⑤今後の事業執行における留意点

なし

(5) 環境負荷等への配慮

なし

(6) コスト縮減の可能性

なし

(7) 代替案立案の可能性

なし

(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他()

(理由)

果樹生産の強化を図り、農業経営の安定化を実現するのに不可欠な基盤整備であることから、事業を継続し、令和10年度の完了を予定している。
今回実施を見合わせる路線については、引き続き地域や関係機関と調整していく。

○別表-進捗率(事業費ベース)

算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位：%

	年度	*R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
現	計画	12.2	26.8	41.4	56.1	70.7	85.3	100		
	実績	10.6	22.0	35.5	54.8	72.2	77.0			
変更計画							63.8	77.4	91.0	100

*事業着手年度又は評価年度

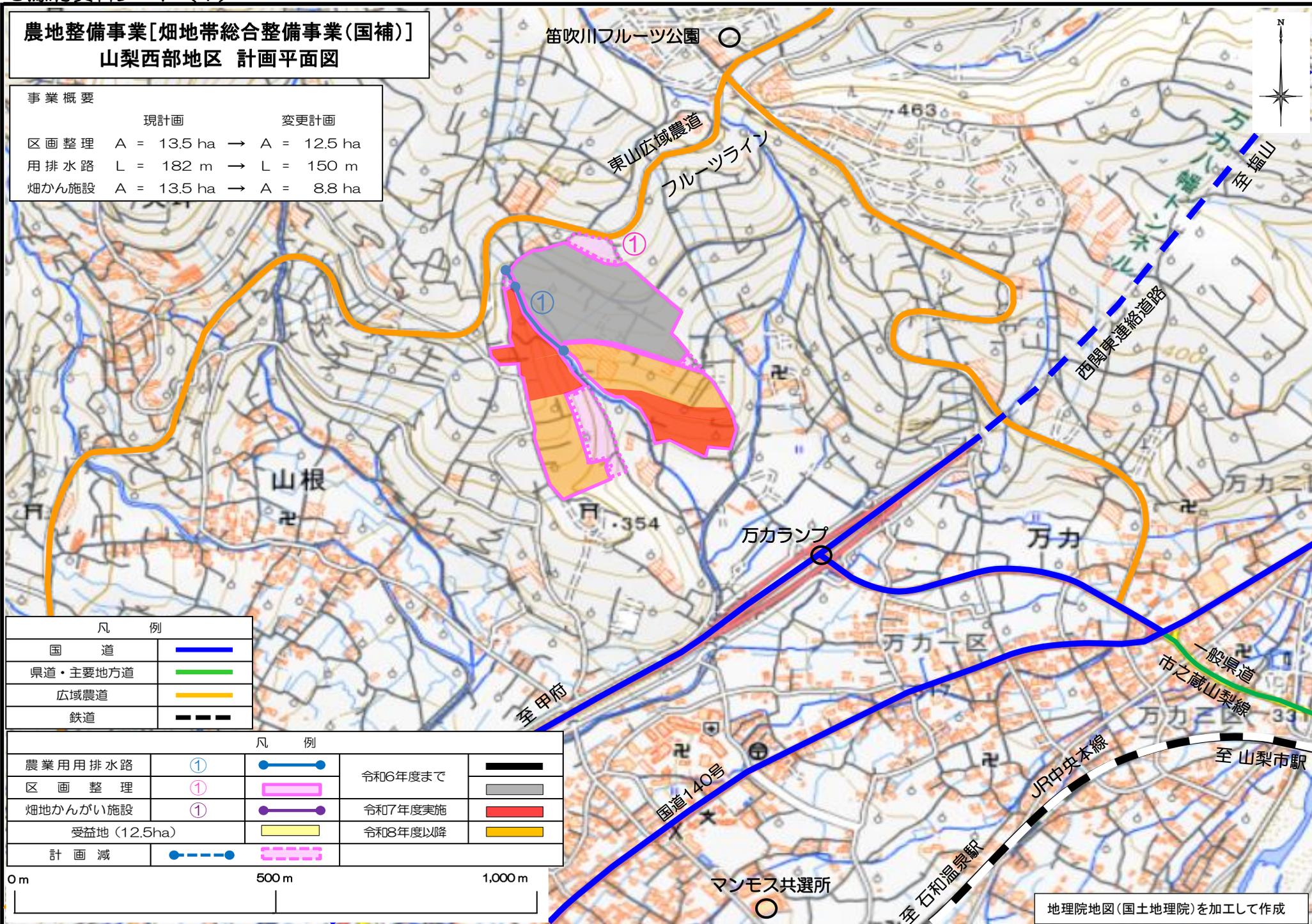
*R7年度の実績は見込み

3.添付資料シート(1)

農地整備事業[畑地帯総合整備事業(国補)] 山梨西部地区 計画平面図

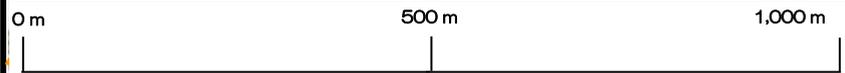
事業概要

	現計画	変更計画
区画整理	A = 13.5 ha	→ A = 12.5 ha
用排水路	L = 182 m	→ L = 150 m
畑かん施設	A = 13.5 ha	→ A = 8.8 ha



凡 例	
国 道	
県道・主要地方道	
広域農道	
鉄 道	

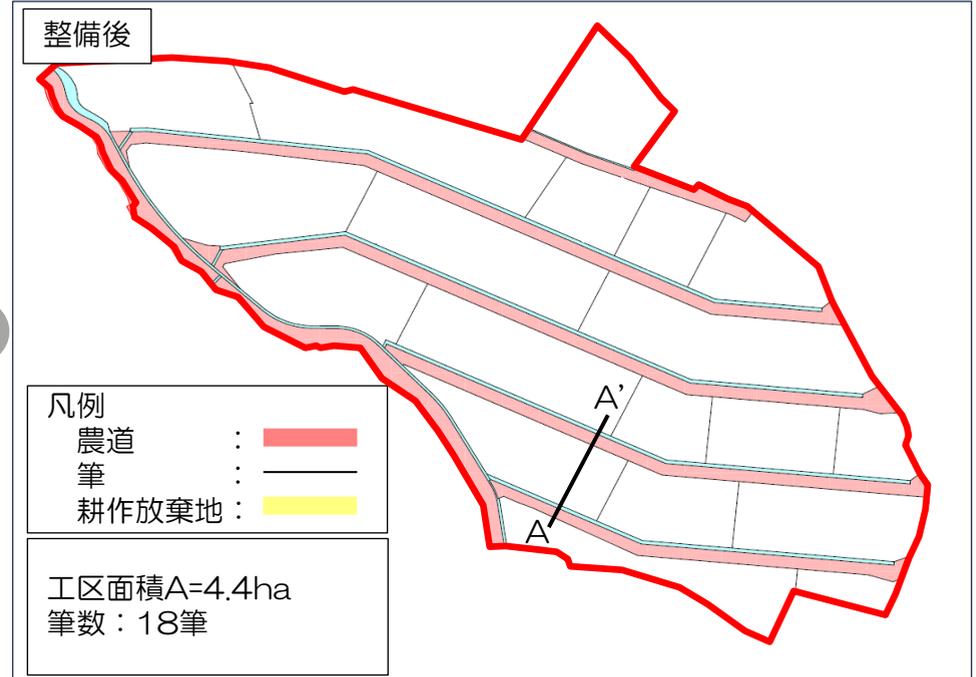
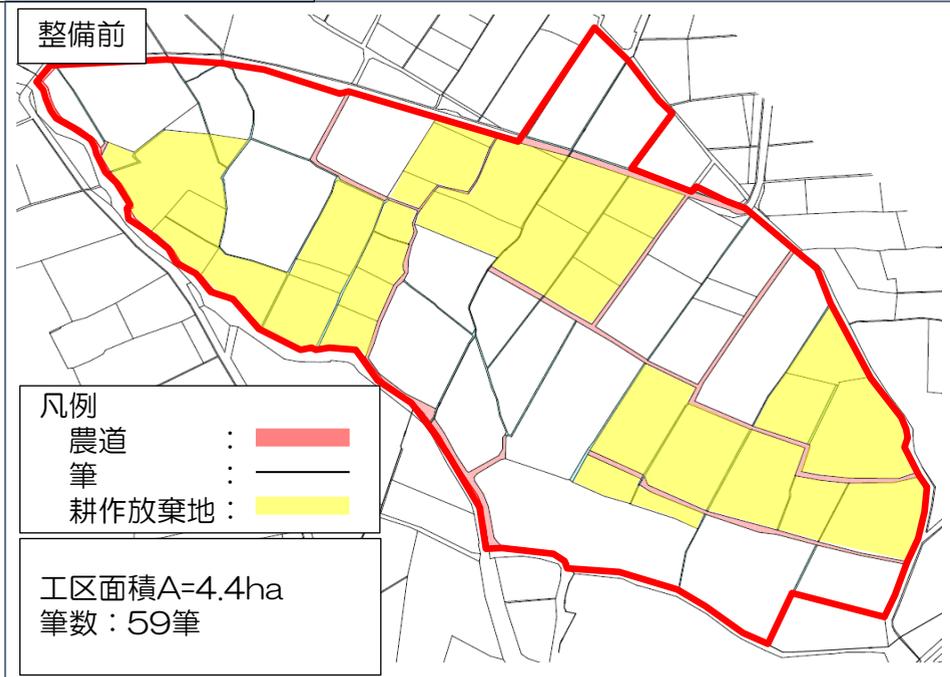
凡 例			
農業用排水路		令和6年度まで	
区 画 整 理		令和7年度実施	
畑地かんがい施設		令和8年度以降	
受益地 (12.5ha)			
計 画 減			



地理院地図(国土地理院)を加工して作成

3. 添付資料シート (2)

1 区画整理

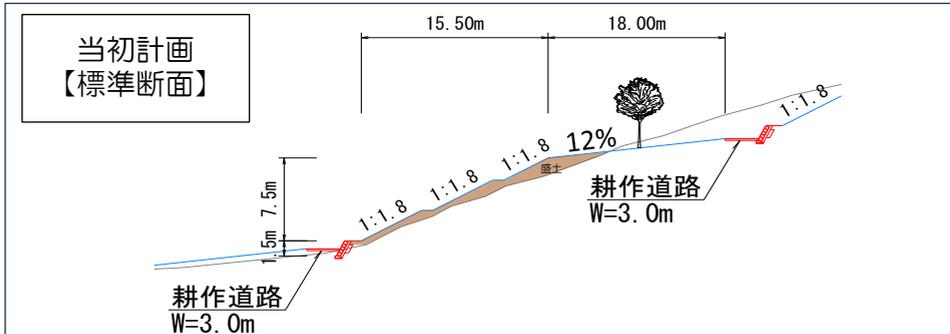


• 整備前は農地が急峻かつ狭小で、機械作業が難しく耕作しにくい状態であった。また、地区内の農道は幅員が狭く、農道に接していない農地も多いことから、耕作放棄地増加の原因となっていた。

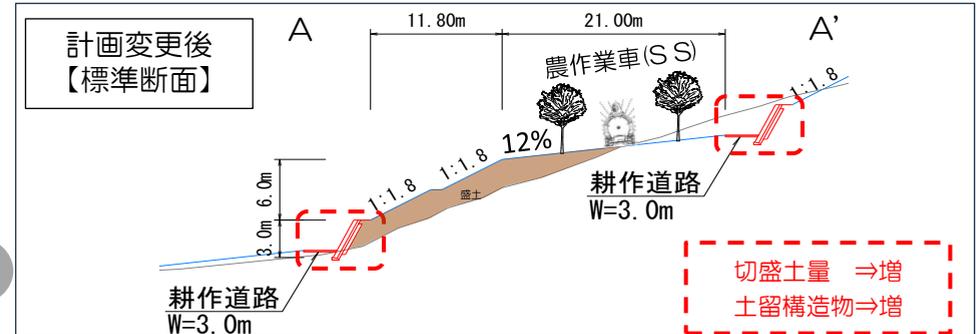
• 整備による区画の拡大や、道路と農地の接道により、営農の合理化や効率化が図られ、営農条件が改善されたことでシャインマスカットなどの高収益作物への作物転換が促進される。

3.添付資料シート(3)

1 区画整理



- 現況地形を活用し、切盛土量を極力発生させない計画としていた。



- 「営農形態」及び「農作業機械効率」を考慮し、ほ場の耕作面積を確保し、複数の苗木の植付けを可能とする計画とした。これに伴い切盛土量が増となった。
また、「整備後の法面の維持管理における安全性」を考慮し、土留構造物の見直しを行った。これらにより、事業費の増額につながった。



- 区画整理を実施することで、機械作業の導入が進み農作業が効率化されるなど営農環境が改善される。
また、区画整理内農道や排水路整備を実施することで、荷痛みの防止や果樹の品質向上が図られる。

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
R2	121,000	設計業務一式、用地補償一式、区画整理A=0.7ha	8.8
R3	130,900	設計業務一式、用地補償一式、区画整理A=0.6ha	18.3
R4	154,000	設計業務一式、用地補償一式、区画整理A=1.7ha	29.5
R5	220,000	設計業務一式、用地補償一式、区画整理A=1.5ha	45.4
R6	198,880	設計業務一式、用地補償一式、区画整理A=2.0ha	59.9
R7	55,000	設計業務一式、用地補償一式、区画整理A=0.5ha	63.8
R8	187,000	設計業務一式、用地補償一式、区画整理A=2.0ha、用排水路L=50m	77.4
R9	187,000	設計業務一式、用地補償一式、区画整理A=2.0ha、用排水路L=50m、畑かん施設A=4.4ha	91.0
R10	124,220	設計業務一式、用地補償一式、区画整理A=1.5ha、用排水路L=50m、畑かん施設A=4.4ha	100.0
合計	1,378,000		